

風量センサー静圧

消耗部も摩滅もなし



可動部不使用の超音波測定原理は、摩耗の問題が一切なく、定期的保守サービスが不要な信頼性の高いパフォーマンスを提供します。

詳細については、超音波風量センサー技術の白書をご覧ください。

WSS版には発熱体が内蔵されており、氷結を防ぎます。

WSSは制御システムに直接接続可能で、ブリッジに配置されたWSDI-2風速および風向インジケータに同時にデータを送信することが出来ます。

低コストでありながら高価な維持費を要するものではなく、高性能と信頼性を求めるお客様には明らかなチョイスです。

WSSは関連する主要な等級認定をすべて受けています。

いますぐアップグレードを！

現在DEIFの879.3cダイナミック風量センサーをご使用でWSSへのアップグレードをご希望の場合、是非WSS/WSS-Lデータシートとユーザーズマニュアルから当社のアップグレードキットについてご覧ください。

このキットには静的WSSセンサー、WSIインターフェースボックス、順調な転換を円滑化するためのマニュアルが含まれています。アップグレードキットにより、センサーとディスプレイ装置をつなぐケーブルの再利用が出来ます。

WSSの特長

- ▶ 風速と風向を測定
- ▶ IP66筐体
- ▶ インテリジェントな熱により氷結を防ぎます
- ▶ 最低動作温度 -52 °C
- ▶ 実績の高い確固とした技術
- ▶ 大西洋の荒天下での広範にわたるフィールドテスト済み

バリエーション

特長

WSS	熱式
WSS-L	非熱式



www.deif.jp